

# Elementary school



写真上 食い入るように霧箱をのぞき込む渡部さん(右から2人目)ら。飛跡が見えると「見えた」「すごい」などと声を上げていました  
写真下 戸田さん(右から1人目)の説明を聞く児童ら

## 放射線の飛跡に目を凝らす

長瀬小と緑小の放射線教育授業は10月31日、長瀬小で開かれ、両校の6年生33人と町内外の小・中・高校の教諭ら28人が放射線について理解を深めました。この授業は、長瀬小が東日本大震災復興支援理科教育助成を受け、放射線の飛跡を観察できる実験道具を購入したところ、開発した北陸電力エネルギー科学館サイエンスプロデューサーの戸田一郎さんが講師に名乗り出たため実現したものです。授業では、ステンレスや鉛、アクリル板などの放射線を遮る効果を調べた後、購入した「戸田式霧箱実験セット」で自然界の放射線の飛跡を観察。児童たちは、食い入るように霧箱をのぞき込み、飛跡が現れると「すごい」と歓声を上げていました。授業を受けた渡部溪さん(長瀬小6年)は「放射線が通った跡を見て驚きました。放射線が体の中からも出ていることを知りました」と話していました。

# Junior high school



写真上 団地で男女ともに優勝し、笑顔を見せる選手ら  
写真下 女子団体の優勝が決まった瞬間。田島優乃華主将(右から2人目)は「恩返ししたいという気持ちが強かった」と話していました

## 全中優勝などの活躍を報告

8月に千葉県船橋市で開かれた全国中学校体育大会バドミントン競技に出場した、猪苗代中特別バドミントン部の選手らは11月1日、町役場を訪れ、前後公町長らに結果を報告しました。富岡一中のメンバーで構成する同部は、昨年の東京電力福島第一原発事故以来、本町で合宿生活を続け、全国制覇に向けて練習に励んできました。大会では男子が3年連続、女子は2年連続の団体優勝を果たし、男子シングルスでも三橋健也選手(3年)が優勝の栄冠を手に入れました。齋藤亘監督は「猪苗代中の生徒たちが温かく迎えてくれて、学校生活が安定したことが大きい」と、男子の小林大吾主将(3年)は「応援してくれる町の皆さんなどのおかげで優勝することができた。これからも感謝の気持ちを忘れず頑張っていきたい」と話していました。

# スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



写真上 ゴールした選手を出迎えた後、マウンテンバイクからゼッケンを回収する野球部員ら  
写真下 選手たちのレース後の楽しみ、ジンギスカンを準備する生徒たち

## 大会を支えるボランティア

第6回ジンギスカップIN磐梯高原は10月8日、磐梯南ヶ丘牧場で開かれ、猪苗代高校のJRC委員会、野球部などの生徒ら18人がボランティアスタッフとして参加しました。生徒たちはゴールした選手に「お疲れさまでした」と声をかけながらジュースを手渡し、ゼッケンを回収したり、抽選会の手伝いをしたりしました。コース係として安全な競技運営のために全力を尽くす生徒、レース後の選手たちの楽しみであるジンギスカンの準備を手伝う生徒など、猪高生は各所で大会の運営をサポート。仕事の合間には「がんばれー」と選手らを励まし、レースを盛り上げました。主にゼッケン回収などを担当した野球部の天賀谷佳祐さん(2年)は「選手たちをサポートできてうれしかった。機会があればまた参加したいです」と話していました。



写真上 女子800m走スタートの様子。ゴール前のデッドヒートを制し、吾妻小の佐藤さん(ゼッケン440)が優勝  
写真下 男子800m障害で大会新記録をマークした翁島小の青木さん(手前)

## 男子ハードルで大会新記録

野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭は10月18日、町運動公園陸上競技場で開かれ、町内6小の児童が全力で競技に挑みました。男子800m障害では、青木剛さん(翁島)が大会新記録で優勝。青木さんは100m走も制し、見事2冠に輝きました。各種目の優勝者は次のとおりです。**【男子】●100m 青木剛(翁島)●80m障害 青木剛(同)=大会新 ●1000m 半谷昂大(千里)●走り高跳び 一ノ瀬翼(猪苗代)●ソフトボール投げ 柳沼駿介(長瀬)●走り幅跳び 渡邊涼太郎(同)●400mリレー 長瀬****【女子】●100m 稲澤茜音(猪苗代)●80m障害 井上香耶(同)●800m 佐藤三紀子(吾妻)●走り高跳び 渡邊美森(長瀬)●ソフトボール投げ 鈴木乃愛(翁島)●走り幅跳び 稲澤茜音(猪苗代)●400mリレー 猪苗代**

# High school